ニトマチック

AS－7

オートディスペンサー（オートフィードカッター付）

取 扱 説 明 書

日東電工CSシステム株式会社

はじめに

●このたびは、ニトマチック オートディスペンサーをお買い上げいただきありがとうございます。
はじめに、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと保存し、必要なときにお読みください。
●裏面に記載されている保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめください。
●修理を依頼される場合は、必ず裏面の修理依頼書に必要事項をご記入の上製品に同梱してお送りください。

もくじ

■安全上のご注意…… 3

■各部のなまえとはたらき…… 5

■使いかた
お使いになる前に…… 7
テープのセット…… 7
プレッシャーつまみの調整…… 8
テープ長さの設定…… 9
テープ長さの変更…… 9
手動送り（キー操作）で使用する…… 9
自動送り（オートフィード）で使用する…… 10
オートフィードカッターユニットのしくみ…… 10
テープの交換方法…… 12
オートフィードカッターユニットの交換方法…… 12

■こんなとき
こんなとき…… 13
テープが詰まったときの取り出しかた…… 16

■別売部品の交換方法
カッター刃の交換…… 17
テープ押さえガイドの使用…… 18
はくりローラーユニットの交換…… 19
ヒューズの交換…… 19

■別売部品・消耗品…… 20

■展開図…… 21

■推奨常備パーツ・部品一覧…… 23

■お手入れの方法…… 32

■保守・点検・サービス…… 32

■仕様…… 33

■保証書…… 34

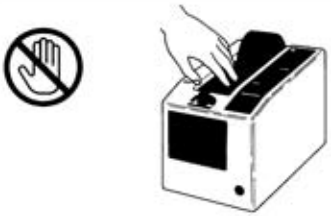
■修理依頼書……巻末

安全上のご注意 （おまもりいただくこと）

⚠警告：場合により、重傷を負うおそれがあります。必ずお守りください。

⚠ 警　告

テープの出口に指をいれない
カッター刃に触れてケガをすることがあります。

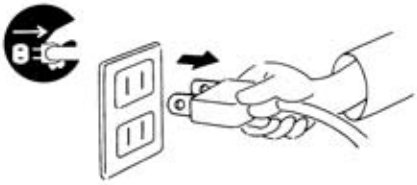


送りローラー部に指をいれない
ローラーに巻き込まれケガをすることがあります。

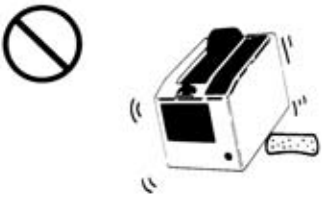
幼児が触れない場所に設置して、ご使用ください。

⚠注意：場合により、傷害や損害を被ることがあります。必ずお守りください。

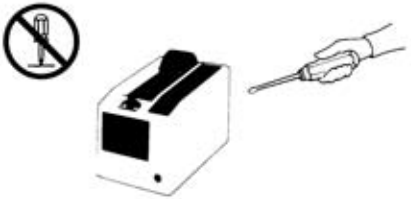
⚠ 注　意



部品交換のときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
誤ってキーを押すと、作動して危険です。



ぐらついたり、傾いている不安定な場所で使用しないでください。
落下するなどして、ケガの原因になります



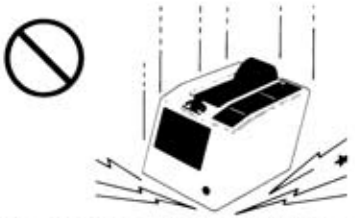
ご自分で分解・修理・改造はしないでください。
故障・発火など、異常の原因になります。

水・湿気・ホコリの多い場所で使用しないでください。
感電・故障の原因になります。

⚠注意：場合により、傷害や損害を被ることがあります。必ずお守りください。

⚠ 注 意

テープの出口に棒などを差し込まないでください。
カッターが故障することがあります。

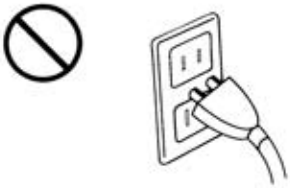


強い衝撃をあたえないでください。
故障・破損の原因になります。

本体は、ＡＢＳ樹脂ですので、工業用油やシンナー・ベンジンなどで拭かないでください。
破損することがあります。

電源プラグ・コード・コンセントの痛み・ゆるみ・ホコリ詰まり・ねじれなどがないように、ご注意ください。
火災・感電・故障の原因になります。

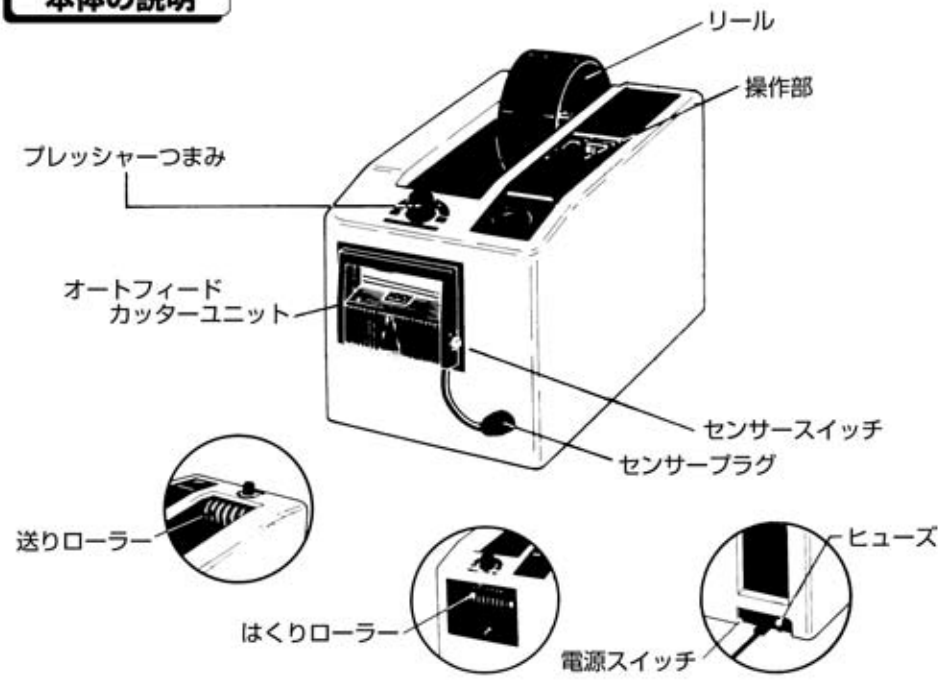
引火性のものの近くでは使用しないでください。
発火することがあります。



交流100V以外の電源では使用しないでください。
火災・感電・ケガの原因になります。

各部のなまえとはたらき

本体の説明

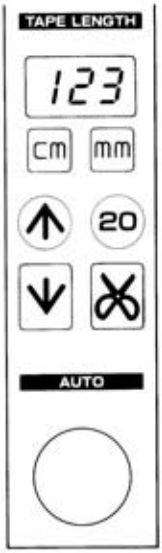


【付属品】

取扱説明書

シリコンオイル5c.c. 1本

操作部の説明



●電源スイッチ

OFF ON

ONの側を押すと電源が入ります。

●表示部

TAPE LENGTH 123

最大3桁(999mm)までテープの長さを表示します。

●サイズキー

cm mm

mmキーを押すと、mmの単位1桁(0~9mm)を設定できます。
cmキーを押すと、cmの単位2桁(20mm~990mm)を設定できます。

●リバースキー

送りローラーが逆転します。テープ交換時などにご使用ください。

●プレッシャー(圧力)つまみ

PRESSURE

テープの押さえ圧力をテープに合わせて調整できます。

●送りキー

キーを押している間、テープが出ます。

●カットキー

キーを押すと、テープをカットします。

●オートキー

AUTO

キーを押すと、表示中の設定長さにテープを1回自動送りし、自動カットします。

※テープ長さを120mm以上に設定する場合は、作業台等にテープが接着する恐れがあります。「手動送り」での使用を推奨します。

●リセットキー

20

寸法表示を始めの値20mmに戻します。

使いかた

お使いになる前に

1．電源スイッチを、「ＯＦＦ」にしてください。

2．オートフィードカッターのセンサースイッチを「ＯＦＦ」にしてください。

> ⚠ 電源「ON」のままですと、誤ってキーを押したとき作動して危険です。

3．オートフィードカッターのセンサープラグを本体に差し込んでください。(図１)

4．電源プラグをコンセントに差し込んでください。

5．電源スイッチを「ＯＮ」にします。
始めの表示「20」が表示されます。(図２)
登録できるテープの最低の長さ「20mm」の意味です。

両プラグの▲マークを合わせて差し込んでください。

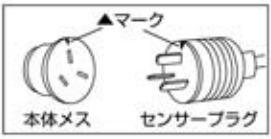


図１

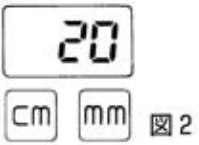


図２

テープのセット

1．電源スイッチを「ＯＦＦ」にします。

2．リール(軸)を、後方へ引き抜き、はずします。

3．テープをリールにはめ込み、本体にセットします。
＊テープがリールの中央に位置するようにセットしてください。曲がった状態でセットするとテープがつまる場合があります。

4．テープの先端を、送りローラー(銀色のローラー)の中央に貼りつけ、しっかりなじませます。
＊幅の広いテープの場合はテープの先端の角を折り曲げるとスムーズに送り出しができます。(図３)

図３

5．電源スイッチを「ＯＮ」にします。

6．送りキー ↓ を少しずつ、数回に分けて押しテープを送ります。(図４)
＊送りキー ↓ を押している間だけテープが送られます。

●テープが出てこないときは、
☞13ページを参照してください。

図４

7．オートフィードカッターユニットのテープ出口から、テープを3～4cm程度出してください。

8．カットキー ✂ を押してください。
テープがカットされますので、カットされたテープを取り除いてください。(図５)

●テープ詰まり防止の為、作業終了時は必ずテープを外してください。始業時にテープがセットされている場合は、取り外して先端から50mmをハサミでカットして、セットし直してください。

図５

プレッシャーつまみの調整

プレッシャーつまみは、テープが正しく送り出されるように、テープを押さえているローラーの圧力を調整するための機能です。

テープを押える圧力
弱い

テープを押える圧力
強い

1．テープの材質・特性にあわせて、テープを押さえる圧力を調整してください。

テープの種類	プレッシャーつまみの調整目安
セロハンテープ クラフト粘着テープ 布粘着テープ ＰＰテープ	
片面はくり紙付き両面テープ （厚さ0.5mm以下） フィラメントテープ クレープテープ	

※テープによって効果がない場合があります。

2．送りキー ↓ を押し、テープを出して調子を確認してください。

3．次のような場合、プレッシャーつまみの調整が、テープの材質・特性に合っていないことがあります。状況に応じて調整してください。

状　況	押さえ圧力	プレッシャーつまみの調整
テープが出てこないで詰まる	弱すぎる	（H）の方向へ強める
	強すぎる	（S）の方向へ弱める
テープがカールして出る	弱すぎる	（H）の方向へ強める
テープが垂れ下がって出る	強すぎる	（S）の方向へ弱める
テープに強い筋目が刻まれる	強すぎる	（S）の方向へ弱める

＊テープを正しく送り出すために、ある程度の押さえ圧力が必要です。テープの種類により、プレッシャーつまみで調整しても筋目が出る場合があります。

※テープによって効果がない場合があります。

使いかた

テープ長さの設定

一定の長さで切るために、寸法を設定します。

1．サイズキー cm mm を押して、必要な長さに設定してください。

■ mm を押すと、0mm～9mmまでの、下1桁のmmの数字だけ変更できます。
■ cm を押すと、2cm～99cmまでの、上2桁のcmの数字だけ変更できます。
■サイズキーを、押しつづけると、数字を早送りできます。

＊始めの表示20mm以下には設定できません。
＊数値メモリー機能により電源をＯＦＦにしても、設定値は記憶されています。

【例】108mm(10.8cm)にセットする。

① mm キーを押して、下1桁を「8」に変更します。

② cm キーを押し続けて早送りし、上2桁を10に変更します。

表示

＊テープ長さを120mm以上に設定する場合は、作業台等にテープが接着する恐れがあります。手動送り(キー操作)での使用を推奨します。

テープ長さの変更

1．オートフィードカッターのセンサースイッチを「ＯＦＦ」にしてください。

2．リセットキー eo を押して、始めの表示 20 に戻してください。

3．サイズキー cm mm を押して、必要な長さに設定してください。

手動送り(キー操作)で使用する

1．オートフィードカッターユニットのセンサースイッチをＯＦＦにします。

2．オートキーを押してください。

3．設定した長さのテープが送り出されて、カットされます。

＊設定した長さ以外に、いろいろな長さで出す場合は、送りキー ↓ と、カットキー ✂ を利用してください。

自動送り(オートフィード)で使用する

センサーを利用して、自動送りができます。

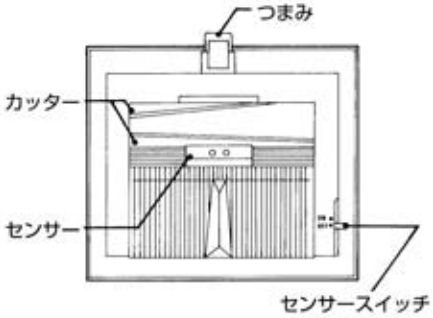
1．オートフィードカッターユニットのセンサースイッチをONにします。

2．設定した長さのテープが送り出されてカットされます。

3．出口のテープをお取りください。

4．次のテープが自動的に設定された長さで出てきてカットされます。

オートフィードカッターユニットのしくみ



■カッター(刃)と、センサーが一体になったユニット部品です。

■センサーは、テープ出口にテープがあるか、無いかを検知する機能があります。
(スイッチONの時)

■テープが無いと検知したとき、本体に、次のテープの送り出しとカットを指令します。

＊透明なテープのとき、テープがセンサーからズレたときなどテープを検知できず、送り出しが止まらなくなることがあります。

＊光源の種類によって異なりますが、明るい場所でご使用になりますと、センサーが誤作動することがあります。

センサーの機能を妨げる明るさの目安

・明るい窓際に、センサーを向けている場合
・白熱灯　800ルクス以上の場合(60W灯下　45cm位)
・蛍光灯　3000ルクス以上の場合(40W灯下　30cm位)

LED表示部にエラー表示(Errが点滅)されたら

1．作動に何らかの不都合が生じたとき、LED表示部に "Err" と表示(点滅)します。

2．オートフィードカッターユニットのセンサースイッチは「ＯＦＦ」にします。

3．エラー表示の解除(リセット)方法は、２つの方法があります。
A：リセットキー ㉑ を押すと、20mmの初期設定値にもどります。
B：ミリキー ㎜ を１度押すと、それまで表示されていた値(使用中の長さ)で点滅を始めます。
もう１度ミリキー ㎜ を押すと、表示されていた値にもどります。

4．エラー表示中の作動は、リバースキー ㊦ のみ有効です。テープが詰まったとき等は、リバースキーを押して、詰まったテープを取り除いてから解除(リセット)してください。

電源スイッチを「ON」にしたときの長さ表示について

1．それまで表示されていた値(たとえば100mmで使用)のまま電源を「ＯＦＦ」にすると、次に電源を「ＯＮ」した際、再度100mmで表示されます。常に同じ長さで使用される場合、または翌日の再使用等、非常に便利な機能です。

2．表示長さの変更は、リセットキー ㉑ を押すことにより、いつでも20mmの初期設定値にもどります。

初期状態に戻すには(電気的ノイズによる異常等の解除)

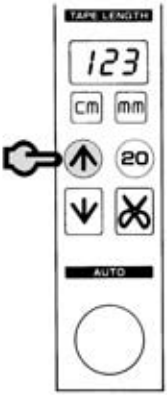
１度電源を「ＯＦＦ」にし、リセットキー ㉑ を押しながら、再び電源を「ＯＮ」にしてください。

※それでも症状が変わらない場合、販売店へご相談ください。

使いかた

注意 部品交換のときは、必ず、電源スイッチとセンサースイッチをＯＦＦにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。誤ってキーを押した場合、作動すると危険です。

テープの交換方法



1．オートフィードカッターのセンサースイッチを「ＯＦＦ」にしてください。

2．テープを逆転させます。
リバースキー ㊧ を、少しずつ押してください。

3．テープを交換してください。

オートフィードカッターユニットの交換方法

■取りはずし方法

1．センサープラグをまっすぐに引き抜きます。　（図１）

2．オートフィードカッターユニットの上のつまみを押さえながら手前に引くと、はずれます。　（図２）

図１

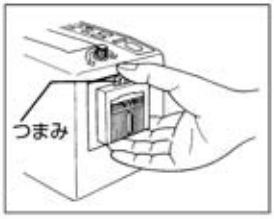


図２

■セット方法

1．センサースイッチを「ＯＦＦ」にしてください。

2．カッターの下刃が下にさがっていることを確認してください。
上がっている場合は、ドライバーなどで刃をさげてください。　（図３）

3．オートフィードカッターユニットの下部を本体に合わせてから、上部を押し込んでください。

4．両プラグの▲マークを合わせて、差し込んでください。　（図４）

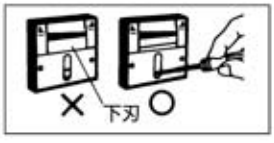


図３

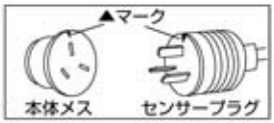


図４

こんなとき

●故障かな？と思った時は、修理をご依頼の前に、下記の点をお調べください。

注意 異常がある場合は、ご自分で修理しないでください。
異常作動などにより、ケガをすることがあります。

症　状	要　因	処　置
テープが出てこない・詰まる	カッター(刃)が正しくセットされていますか？ (替刃の交換をしましたか？)	オートフィードカッターユニットをはずして、正しくセットしなおしてください。 ☞12・17・18ページ参照
	オートフィードカッターユニットの中にテープが詰まっていませんか？	オートフィードカッターユニットをはずして、確認してください。 ●詰まったテープの取り出しかた ☞16ページ参照
	テープが、出口の上側にあたるとき (押さえる圧力が不足しています)	プレッシャー(圧力)つまみを(H)の方向へ強めてください。 または、はくりローラーが摩耗しているので交換してください。
	テープが、出口の下側にあたるとき (押さえる圧力が強すぎます)	プレッシャー(圧力)つまみを(S)の方向へ弱めてください。
	テープが、はくりローラーと一緒に巻き込んでしまうとき	プレッシャー(圧力)つまみを(S)の方向へ弱めてください。
	テープの粘着剤が、シリコン系の時	そのテープは使用できません。
	テープをセットしたまま長時間使用しないで放置しましたか？ テープが貼りついていることがあります。	テープを取り外して先端より50mmをカットしてからセットし直してください。
	テープ巻からテープをはがす時に、強い力が必要ではありませんか？	テープ巻からはがしにくいテープは、使用できない場合があります。
カッターが切れない	カッター(刃)に粘着剤がついていませんか？	除光液やアルコールなどで拭いて粘着剤を取り除いてシリコンオイルを塗布してください。
	テープの切り口が不揃いですか？	カッター(刃)が摩耗していますので交換してください。 ☞12・17・18ページ参照
	カッター(刃)を時々、交換していますか？	
	カッター(刃)が正しくセットされていますか？ (替刃の交換をしましたか？)	オートフィードカッターユニットをはずして、正しくセットしなおしてください。 ☞12・17・18ページ参照
	オートフィードカッターユニット裏の、カッタースプリング(板)のネジがゆるんでいませんか？	

こんなとき

注意 異常がある場合は、ご自分で修理しないでください。
異常作動などにより、ケガをすることがあります。

症　状	要　因	処　置
テープがカールする	テープを押さえる圧力が不足しています。	プレッシャー(圧力)つまみを(H)の方向へ強めてください。 または、はくりローラーが摩耗しているので交換してください。 ☞19ページ参照
テープの長さが設定どおりに切れない	テープ幅が細いとき	別売部品「テープ押さえガイド」で補正できます。 ☞18ページ参照
	両面テープのとき (設定より長めになります)	
	紙テープのとき (設定より長めになります)	別売部品「弱粘着アタッチメント」で補正できます。
	粘着力の弱いテープのとき	
	伸び縮みするテープのとき (設定より短めになります)	伸び縮みするテープは、一定の長さに送れないので、正確にカットすることはできません。
自動送り(オートフィード)にならない (キー操作はできるとき)	本体の電源がはいっていますか？	電源プラグ、電源スイッチを確認してください。
	オートフィードカッターユニットのプラグが差し込まれていますか？	プラグを正しく差し込んでください。
	オートフィードカッターユニットのスイッチが「ON」ですか？	センサースイッチを「ON」にしてください。
	センサー部分が汚れていませんか？	綿棒や歯ブラシなどで汚れを取り除いてください。
	すべて確認したのに作動しないとき	故障が考えられます。 オートフィードカッターユニットを交換してください。
テープがリールにピッタリはめこまれず、テープが動く	テープの内径は、製造メーカーにより異なるので、合わない場合があります。	リールにテープを巻くなどして、リールの径を調節してください。
オートフィードカッターユニットが、はずれる	オートフィードカッターユニット裏の、カッタースプリング(板)のネジがゆるんでいませんか？	はずして、確認してください。 ☞12・17・18ページ参照

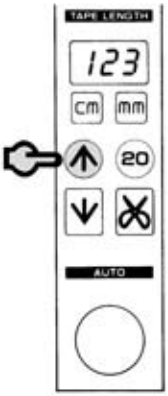
注意 異常がある場合は、ご自分で修理しないでください。
異常作動などにより、ケガをすることがあります。

症　状	要　因	処　置
自動送り(オートフィード)が止まらずに、テープが出続ける ↓ スイッチを、OFFにして止めてください。	テープが、センサーの中央を通っていますか？	テープがセンサーの中央上を通るように、セットしてください。 別売部品「テープ押さえガイド」で、補正できます。 ☞18ページ参照
	照明器具などの、強い光源が近くにありませんか？	強い光源から離すか、センサーを光源のほうへ向けないように設置してください。 ☞10ページ参照
	透明なテープのとき	透明度が高いと、センサーが検知できないことがあります。
	黒いテープのとき	販売店にご相談ください。
	上にカールするテープのとき	販売店にご相談ください。
	テープの種類にかかわらず、止まらないとき	センサーの故障が考えられますので、オートフィードカッターユニットを交換してください。
プレッシャーつまみが動かない	(H)か(S)のどちらかの方向にいっぱいまで回していませんか？	つまみを持ち上げるようにして、回してみてください。
どのキーを押しても全く動かない 何も表示しない	本体の電源がはいっていますか？	電源プラグ、電源スイッチを確認してください。
	ヒューズが切れていませんか？	ヒューズを交換してください。 ヒューズが切れた原因を調べて対処してください。 ☞19ページ参照
Err と表示される	テープが詰まっていませんか？	テープを取り除いて、リセットキーを押してください。長さの設定をもう一度行ってください。
	作動させるとすぐErrになる	作動させた部品の故障です。 修理依頼してください。
	高温な場所で使用していませんか？	制御基盤は熱に弱いので、高温のため異常を示すことがあります。
	しばらく使用しているうちに、急にErrになったとき	制御基盤の故障です。 制御基盤を交換修理する場合、他の修理より高額になります。

こんなとき

注意 必ず電源をＯＦＦにしてください。カッターが作動して危険です。刃に触れないでください。ケガをします。

テープが詰まったときの取り出しかた



1．テープを逆転させます。
リバースキー ㊦ を、少しずつ押してください。

2．セットされているテープを送りローラーからはずしてください。

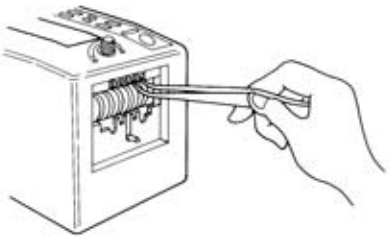
3．戻した部分をハサミなどでカットしてください。

■テープが戻らないときは

1．電源スイッチをＯＦＦにしてください。

2．テープの途中を、ハサミなどで切ってください。

3．出口付近に詰まったテープを、ピンセットなどで、取り除いてください。
鋭利な刃物等は使用しないでください。剥離ローラーを破損させる恐れがあります。



■オートフィードカッターユニットの中のカッターのすきまに、テープが詰まることがありますので、調べてください。

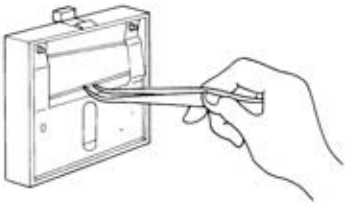
1．オートフィードカッターユニットをはずしてください。

●はずしかた ☞14ページ

2．ウラ側の刃のすきまを確認してください。

3．テープを取り出すときは、直接手を触れずに、ピンセットなどを利用して、ケガをしないようご注意ください。

4．カッター刃を除光液で拭きシリコンオイルを塗布してください。



注意 必ず電源をＯＦＦにしてください。カッターが作動して危険です。刃に触れないでください。ケガをします。

別売部品の交換方法

■別売部品は、お買上げの販売店にご注文ください。 ☞20~31ページ参照

注意 部品交換のときは、必ず、電源スイッチとセンサースイッチをＯＦＦにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。誤ってキーを押した場合、作動すると危険です。

カッター刃、カッタースプリング、カッターライナーの交換

※詳しくは、部品に添付の説明書をお読みください。

1．オートフィードカッターユニットをはずしてください。(図1−1、1−2)

2．ネジ２本をはずし、カッタースプリング(押さえ板)を取り除いてください。(図２)

3．カッター刃をはずしてください。(図３、４)

4．カッターライナーをはずしてください。

5．新しいカッターライナーを取り付けてください。溝に正しく入っているか確認してください。(図５)

＊グリスを塗布してください。

6．新しいカッター下刃をカッターライナーの上にのせてセットします。フッ素コーティング面(ツヤのない黒い面)を上にしてください。
半円形の欠けこみが左下にきます。
カッターライナーの中央にのせて下のほうにスライドさせてください。(図６、７)

7．新しいカッター上刃をセットします。塗装面(ツヤのある面)を上にしてください。カッター上刃の穴をカッター止めシャフトに差し込んでください。(図８)

図１－１

図１－２

図２

図３

図４

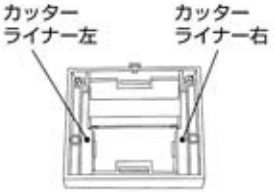


図５

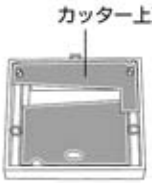


図８

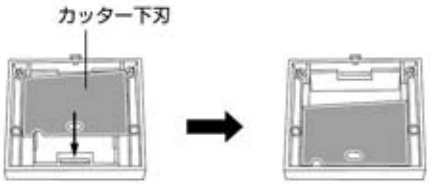


図６　図７

別売部品の交換方法

■別売部品は、お買上げの販売店にご注文ください。 ☞20~31ページ参照

注意 部品交換のときは、必ず、電源スイッチとセンサースイッチをＯＦＦにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。誤ってキーを押した場合、作動すると危険です。

カッター刃、カッタースプリング、カッターライナーの交換

※詳しくは、部品に添付の説明書をお読みください。

8．新しいカッタースプリング(押さえ板)をセットします。半円形の欠けこみが左にきます。(図９)

9．ネジ２本でしっかり止めてください。

＊１ヶ月に１度ネジのゆるみを点検してください。(図10)

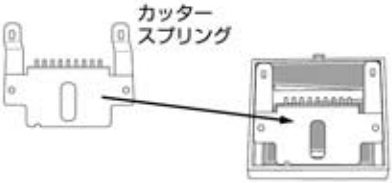


図９

＊カッターの向き／表裏を反対にセットするとテープは切れません。

⚠ カッターの刃に触れないようご注意ください

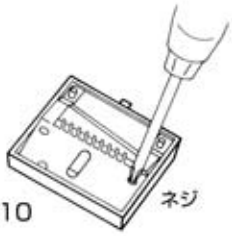


図10

テープ押さえガイドの使用

＊テープ幅の細いテープをご使用のとき、センサーからはずれやすいテープのとき、テープ走行の補正に効果的です。

1．送りローラーと、リールの間の平らな面に貼り付けます。

2．テープ幅に合わせて、テープが中央を通るように両サイドの金具をスライドさせ位置を決めてください。

3．テープ押さえガイドにテープを通してご使用ください。

別売部品の交換方法

■別売部品は、お買上げの販売店にご注文ください。 ☞20~31ページ参照

注意 部品交換のときは、必ず、電源スイッチとセンサースイッチをＯＦＦにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。誤ってキーを押した場合、作動すると危険です。

はくりローラーユニットの交換

1．オートフィードカッターユニットをはずしてください。
はずしかた ☞12ページ
2．図１の、矢印のネジ①・②を、(+)ドライバーではずします。
3．はくりローラーのゴムリングの中央部を指でつまんで、手前に引くと、はくりローラーホルダーユニットがはずれます。(図１)
4．ローラーユニットの左右のネジをはずして、ギヤとカラーをローラー軸から抜きとります。 (図２)
5．新しいローラーユニットをホルダーに合わせ、ギヤとカラーをローラー軸の形状にあわせて差し込み、それぞれネジで止めてください。
ギヤ　：右側／長いほうのネジ
カラー：左側／短いほうのネジ
ギヤとカラーの左右を確認してください。逆にセットするとローラーが逆転します。
6．はくりローラーホルダーユニットを、本体にセットし、ネジ２本で止めてください。

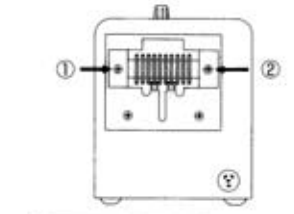
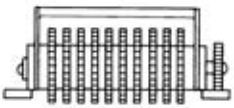


図１



はくりローラー・
ホルダーユニット

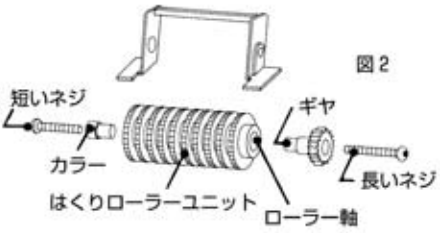
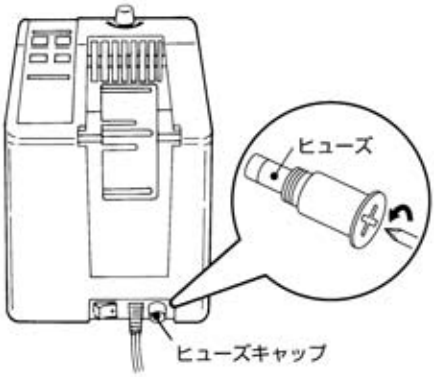


図２

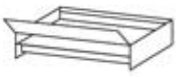
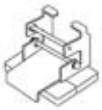
ヒューズの交換

1．本体後ろ側のヒューズホルダーのキャップを、(+)ドライバーで左に回してはずします。
2．新しいヒューズに差し替えます。
(ガラス管ミゼットヒューズφ5.2mm1A)
3．キャップを (+) ドライバーで右に回してセットしてください。

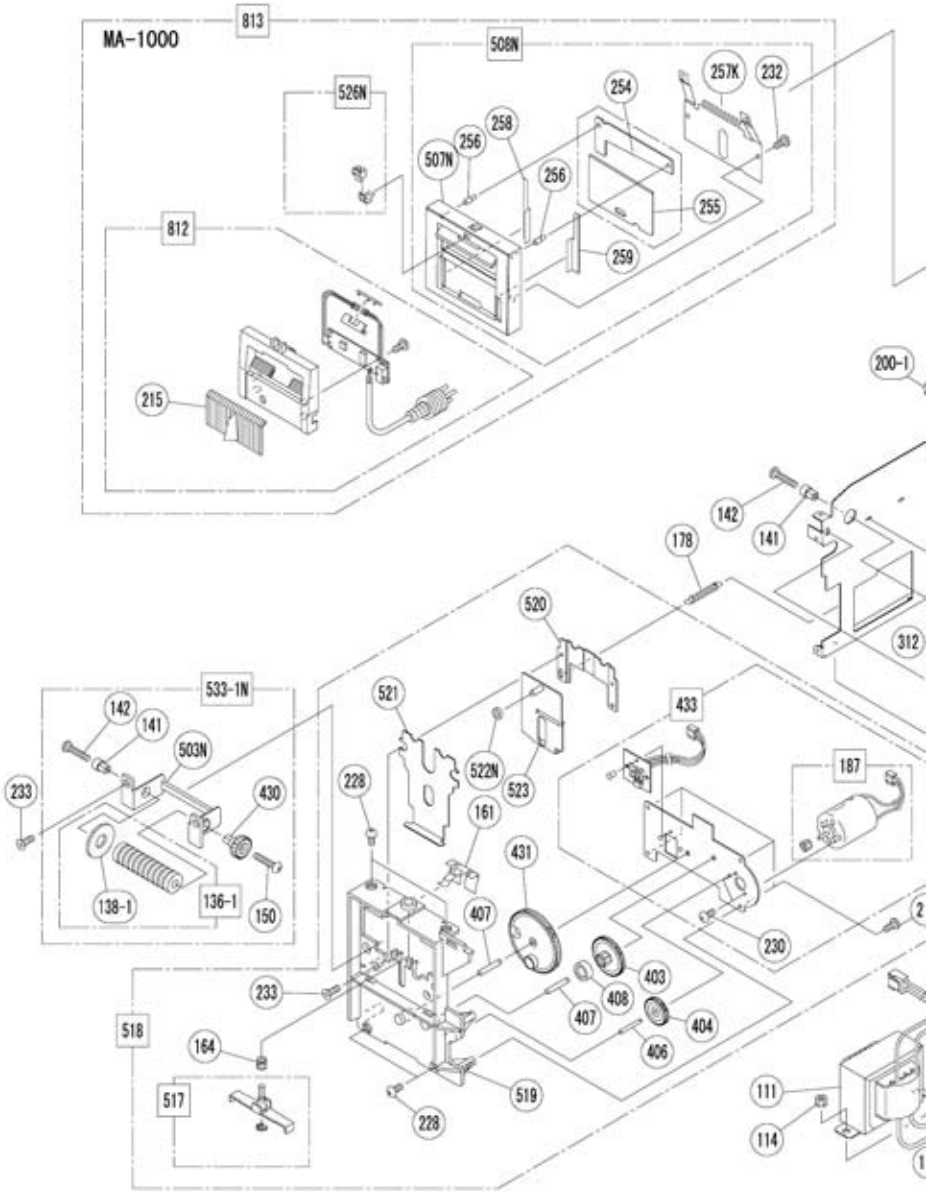


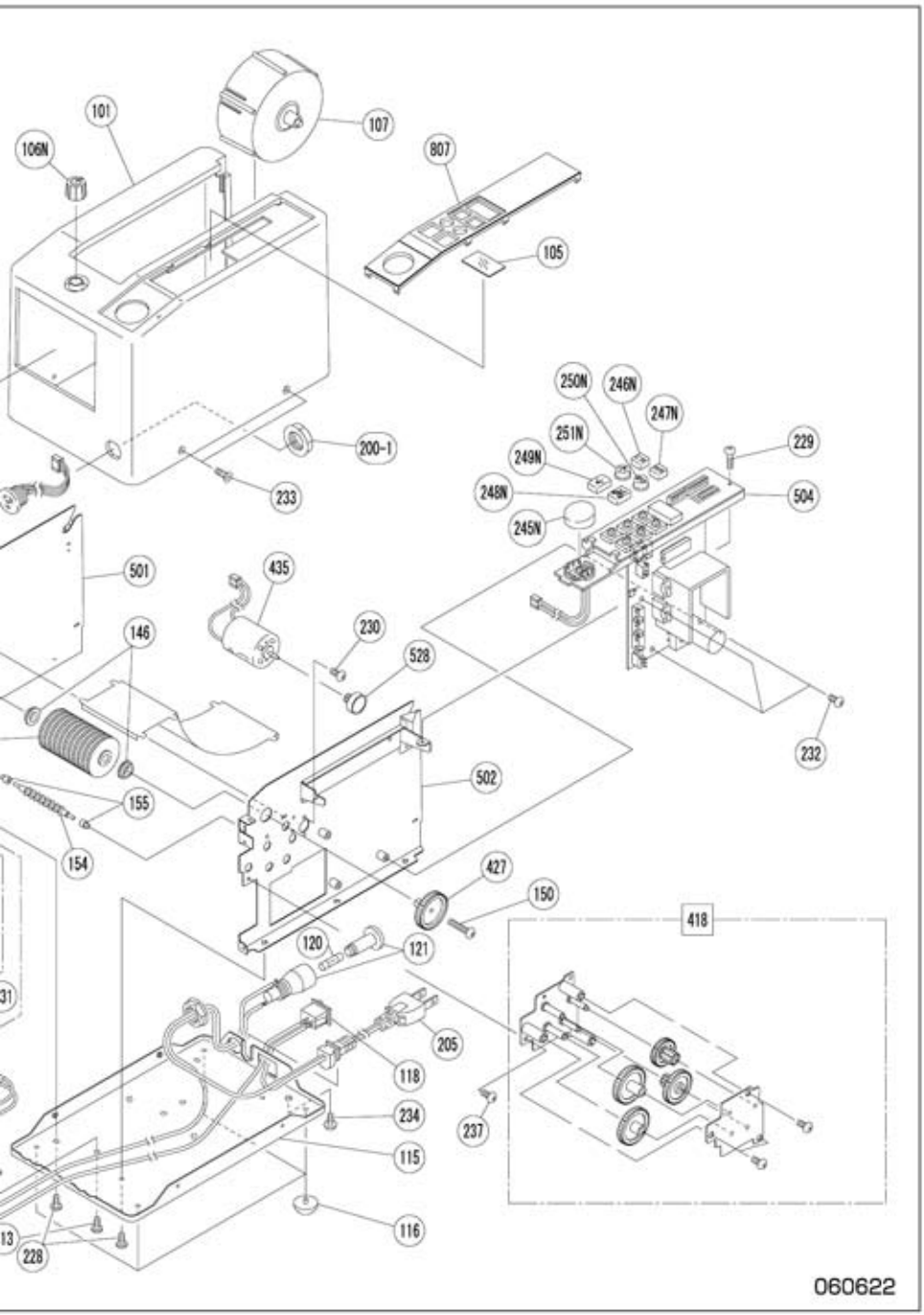
⚠注意
- ヒューズが切れた場合は、原因をご確認のうえ、再発を防止してください。
- 指定以外のヒューズは、使わないでください。
- 原因不明の場合は、点検をご依頼ください。

別売部品・消耗品

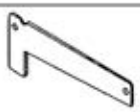
別売商品名・消耗品名		このような時におすすめします
カッター（替刃）		カッターは消耗品です。切れにくくなる前に定期点検をおすすめします。
剥離ローラーユニット		剥離ローラーは消耗品です。定期交換をおすすめします。
オートフィード カッターユニット		センサーが故障することがあります。
テープ押さえガイド		細幅テープご使用のとき、またはセンサーから外れやすいテープなどのテープ蛇行防止に効果的です。
ヒューズ		ヒューズが切れたときは、必ず原因をお確かめのうえお取替えください。
シリコンオイル		刃にテープの粘着剤がつくとき、粘着剤をよく取り除いてから、刃にシリコンオイルを塗布してください。
弱粘着アタッチメント		粘着力が弱いテープ、または特殊テープによりカット誤差が大きく発生する場合に効果的です。
ライナーリムーバー （小・大）		剥離紙を剥がしながらカットする時に使用します。
細幅テープ用リール		はばの細いテープセット時のよれを防ぎます。

AS−7オートディスペンサー展開図



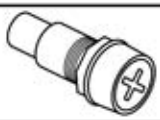

101
107
106N
807
105
250N
246N
247N
251N
249N
229
248N
504
245N
200-1
233
501
435
230
146
528
232
502
155
154
427
150
418
120
121
205
118
234
237
115
116
228
060622

推奨常備パーツ

部品番号 Parts No.	部品名 Parts Name	略図 Illust	備考 Note	重さ Weight
813	オートフィード カッターユニット		MA-1000	125g
533-1N	剥離ローラー ホルダーユニット			66g
254	カッターセット			42g
255				
257K	カッタースプリング			12g
258	カッターライナー右			1g
259	カッターライナー左			1g

部品表

部品番号 Parts No.	部品名 Parts Name	略図 Illust	備考 Note	重さ Weight
101	本体カバー			290g
105	透明板			1g
106N	プレッシャーつまみ			2g
107	リールユニット			40g
111	トランス　100V			520g
113	小ねじナベ			1g
114	ワッシャ付きナット			3g
115	底板			260g
116	足ゴムユニット			2g
118	パワースイッチ			5g
120	ヒューズ			2g

部品番号 Parts No.	部品名 Parts Name	略図 Illust	備考 Note	重さ Weight
121	ヒューズホルダー			6g
136-1	剥離ローラーユニット			60g
138-1	剥離ローラーリング			2g
141	ローラー軸			2g
142	タッピンナベ			1g
146	軸受け			1g
150	タッピンナベ			1g
154	押さえローラー			10g
155	押さえローラーカラー			1g
161	カッターホルダー スプリング			3g
164	ラベル押さえ スプリング			2g

部品番号 Parts No.	部品名 Parts Name	略図 Illust	備考 Note	重さ Weight
178	アーススプリング			2g
187	カットモーターユニット			62g
200-1	3ピンコネクター			10g
205	コード（国内）			68g
215	密着防止プレート			3g
228	タップタイトナベ			1g
229	タッピンナベ			1g
230	小ねじナベ			1g
231	タッピンナベ			1g
232	小ねじナベ			1g
233	タップタイト丸皿			1g

部品番号 Parts No.	部品名 Parts Name	略図 Illust	備考 Note	重さ Weight
234	タッピンナベ座付き			2g
237	タップタイトナベ			1g
245N	オートボタン			5g
246N	スイッチボタン　1cm			2g
247N	スイッチボタン　1mm			2g
248N	スイッチボタン　カット			2g
249N	スイッチボタン　送り			2g
250N	スイッチボタン　20			2g
251N	スイッチボタン　戻り			2g
254	カッターセット			42g
255				

部品番号 Parts No.	部品名 Parts Name	略図 Illust	備考 Note	重さ Weight
256	カッター止めシャフト			2g
257K	カッタースプリング			12g
258	カッターライナー右			1g
259	カッターライナー左			1g
289	シリコンオイル			5.5g
312	送りローラー			186g
403	平歯車15			5g
404	平歯車16			2g
406	平歯車軸14			1g
407	平歯車軸13			3g
408	カラー2			6g

部品番号 Parts No.	部品名 Parts Name	略図 Illust	備考 Note	重さ Weight
418	ギヤ取り付け板 ユニット			90g
427	送りローラーギヤ			5g
430	剥離ローラーギヤ			2g
431	カッターギヤ2 ユニット			12g
433	カッター部ギヤカバー2			105g
435	送りモーターユニット			75g
501	側板2左ユニット			155g
502	側板3右ユニット			175g
503N	剥離ローラーホルダー			5g
504	制御板ユニット			140g
507N	カッターホルダー2			26g

部品番号 Parts No.	部品名 Parts Name	略図 Illust	備考 Note	重さ Weight
508N	カッターホルダー ユニット			80g
812	センサーカバー3 ユニット			35g
813	オートフィード カッターユニット		MA-1000	125g
517	ローラー押さえ ユニット			15g
518	前面ホルダー3 ユニット2			222g
519	前面ホルダー3			45g
520	カットレバー押さえ			10g
521	カットレバーライナー2			20g
522N	カットレバーシャフト カラー			2g
523	カットレバー2 ユニット			23g
526N	オープンセット			8g

部品番号 Parts No.	部品名 Parts Name	略図 Illust	備考 Note	重さ Weight
528	ピニオンギヤ2 ユニット			10g
533-1N	剥離ローラー ホルダーユニット			66g
807	飾りプレート			18g

お手入れの方法

注意 お手入れのときは、必ず、電源スイッチとセンサースイッチをＯＦＦにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。誤ってキーを押した場合、作動すると危険です。

■オートフィードカッターユニット　：テープの粘着剤が取れない時は、除光液やアルコールを布などにふくませて、拭いてください。
カッター刃にテープが付着しやすい時は、刃の部分にシリコンオイルを塗布してください。

■本体カバー　：ＡＢＳ樹脂製品です。乾いた布で拭いてください。
キーの部分やオートフィードカッターユニットに水分がかからないようご注意ください。

工業機械油・シンナー・ベンジンで拭きますと、破損、変質するおそれがあるので、使用しないでください。

保守・点検・サービス

■安心してご使用いただくために、定期的な点検をおすすめいたします。

■カッター刃・はくりローラーホルダーユニット・オートフィードカッターユニット・カッタースプリング・カッターライナー(右・左)・シリコンオイルなどの消耗品は、予備品を常備しておくことをおすすめいたします。

■故障の際は、Ｐ34の保証規定により、アフターサービスを承ります。

■原因不明の走行不良などの場合は、本体と一緒にご使用のテープ見本を１巻お送りください。より早く正確な究明に役立ちます。

本製品は、一般的なテープに対応できるよう設計されておりますが、全てのテープに対応できるものではありません。
特殊なテープの場合は、販売店またはお客様サービスセンターへご相談ください。

お客様サービスセンター　☎0120-21-8280

月曜～金曜　午前9：00 ～ 午後6：00

長年ご使用のテープカッターの定期点検を！

このような症状はありませんか	●スイッチを入れても、ときどき運転しないことがある。 ●電源コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。 ●運転中、異常な音がする。 ●本体が変形したり、異常に熱い。 ●こげくさい臭いがする。 ●その他の異常、故障がある。	▶ **お願い**	このような場合は事故防止のため電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検・修理(有料)をご相談ください。

仕　様

表示	3桁　ＬＥＤ　デジタル表示
使用可能テープ幅	7mm～50mm
テープ長さ設定範囲	20mm～999mm
適用リール	φ76mm、φ35mm、φ25mm
適用テープ外径	φ170mm以下
適用テープ種類	セロハンテープ、クラフト粘着テープ、布粘着テープ、ＰＰテープ、片面はくり紙付き両面テープ(厚さ0.5mm以下)、フィラメントテープ、クレープテープ
駆動	テープ送り・テープカット：ＤＣモーター
消費電力	18W
電源	ＡＣ100Ｖ　50／60Hz
使用可能照度	蛍光灯　3,000ルクス以下(40W灯下30cm位) 白熱灯　800ルクス以下(60W灯下45cm位) 太陽光　10,000ルクス以下
使用温度・湿度	5℃～40℃　湿度80%ＲＨ以下
外形寸法・重量	W137×D245×H150mm　2.4kg
材質	本体カバー：ＡＢＳ樹脂 側板・底板：冷間圧延鋼板 カッター　：片面フッ素コーティング

※一般的なテープでも本製品で使用できないテープもございますので、ご使用テープがお使いになれない場合は、販売店または弊社お客様サービスセンターまでご相談ください。テープ特性に合わせた機種を提案させていただきます。

保証書

保証規定

1．保証期間内に、取扱説明書に従った正常な使用状態で万一故障した場合は、お買上げ販売店、または当社が無料修理いたします。
2．次のような場合は、保証期間内でも有料修理になります。
（a）本保証書のご提示がない場合。
（b）本保証書の所定事項の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
（c）使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障及び損傷。
（d）お買上げ後の輸送・落下等による故障及び損傷。
（e）火災・地震・風水害その他天災地変による故障及び損傷。
（f）異常電圧・指定外の使用電源(電圧・周波数)による故障及び損傷。
（g）特殊なテープの使用による、走行不良・カット長の異常。
3．本保証書は日本国内においてのみ有効です。
4．本保証書は再発行いたしませんので、大切に保存してください。

ニトマチック　オートディスペンサー保証書

お客様の正常なご使用状態で万一故障した場合には、本保証書記載内容により無料修理いたします。(ただし、カッター、はくりローラーは除きます。)
修理はお買上げの販売店又は当社に、必ず本保証書をそえてご依頼ください。

品番	AS−7
品名	オートディスペンサー
製造番号	
保証期間	お買上げ日より6ヶ月 年　月　日〜　年　月　日
お客様	ご住所　〒 電話番号　(　)　-
	お名前 様
販売店	住所・店名・電話番号 ㊞

日東電工CSシステム株式会社
〒441-3194 愛知県豊橋市中原町字平山18番地　フリーダイヤル 0120(21)8280

（お買上げの際、販売店で必ずご記入ください。）

コピーしてご使用ください。

依頼をされる前に再度、取扱説明書の「こんなとき」を確認してください。
お手数ですが、適切な修理のため下記の必要事項を記入いただき、製品と一緒に送ってください。

日東電工CSシステム(株)　ニトマチックサービスセンター　宛

貴社名	ご担当者名
ご住所 電話番号　（　　）　－	
販売店様名	

AS−7　修理依頼書

製造番号	

ご使用されているテープ

種　類	使用の有無	種　類	使用の有無	種　類	使用の有無	種　類	使用の有無
セロハンテープ		クラフトテープ		布テープ		ＰＰテープ	
両面テープ (厚み0.5㎜以下)		フィラメントテープ		クレープテープ		＊その他テープ	

＊その他テープをご使用されている場合は、現物を１巻同封ください。

メーカー名（　　）　品番（　　）

不具合の内容

症　状	発生の有無
テープが出てこない・詰まる	
カッターが切れない	
テープの長さが設定とおりに切れない	
自動送り（オートフィード）にならない（手動送りはできる）	
自動送り（オートフィード）が止まらずに、テープが出続ける	
電源は入るが、どのスイッチを押しても動かない	
手順どおりにErr表示の解除をしてもリセットされない	
上記以外	